

令和6年度第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会会議次第

日時：令和6年6月26日（水）午後2時から

場所：勝浦市役所 4階 大会議室

1. 開 会

2. 報 告

- （1）令和5年度協議会事業報告及び決算報告について（資料 P3～P6）
- （2）令和5年度デマンドタクシー運行実績について（資料 P7）

3. 議 題

- （1）協議会役員の改選について（資料 P8～P11）
- （2）勝浦市デマンドタクシー運行業務について（資料 P12～P17）
- （3）勝浦市地域公共交通計画の変更について（別冊資料）
- （4）令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画
認定申請書の提出について（別冊資料）

4. その他

5. 閉 会

令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	所属元役職名	氏 名	備考
1	勝浦市 副市長	加藤 正倫	
2	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
3	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当 課長	伊藤 昌央	代理出席 鎌田 凌生
4	勝浦警察署 地域交通課長	石井 正志	
5	夷隅土木事務所 所長	宮下 直也	
6	千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
7	千葉県タクシー協会 常任理事 外房支部長	大矢 昌明	
8	東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長	小口 宗昭	
9	小湊鉄道(株) バス部長	深山 宏樹	代理出席 横山 正晃
10	日東交通(株) 鴨川営業所長	松井 大樹	
11	エミタスタクシー南総(株) 取締役支配人	古川 実	
12	小湊鉄道労働組合 書記長	清水 崇志	
13	勝浦市区長会連絡協議会 上野地区会長	吉野 安男	欠席
14	勝浦市区長会連絡協議会 総野地区会長	渡邊 浩之	
15	勝浦市民生委員児童委員協議会 会長	内田 和夫	
16	勝浦市社会福祉協議会 監事	須金 重治	欠席
17	勝浦市 都市建設課長 (市道・道路管理担当)	栗原 幸雄	
18	勝浦市 福祉課長 (障害者福祉担当)	水野 伸明	
19	勝浦市 学校教育課長 (学校教育担当)	柴関 左恭	
20	勝浦市 高齢者支援課長 (高齢者福祉・支援担当)	篠宮 寛敬	

令和6年度 第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会 座席表

【副会長】 エミタタクシー南総(株) 取締役支配人 古川 実	【会長・議長】 勝浦市副市長 加藤 正倫	【副会長】 小湊鉄道(株) モビリティ推進部 横山 正晃(代理出席)
勝浦市 区長会連絡協議会 総野地区会長 渡邊 浩之		国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 高橋 直人
勝浦市 民生委員児童委員協議会 会長 内田 和夫		千葉県総合企画部 交通計画課企画調整室 鎌田 凌生(代理出席)
勝浦市都市建設課 課長 栗原 幸雄		勝浦警察署 地域交通課長 石井 正志
勝浦市福祉課 課長 水野 伸明		夷隅土木事務所 所長 宮下 直也
勝浦市学校教育課 課長 紫関 左恭		千葉県バス協会 専務理事 成田 斉
勝浦市高齢者支援課 課長 篠宮 寛敬		小湊鉄道労働組合 書記長 清水 崇志
【オブザーバー】 エミタタクシー(株) 営業部 池邊 次男		東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長 小口 宗昭
【オブザーバー】 御宿町企画財政課 課長補佐 柴原 進一		日東交通(株) 鴨川営業所長 松井 大樹
【事務局】 勝浦市企画課 政策推進係 忍足・鈴木	【事務局】 勝浦市企画課 課長 青山 大輔	
【オブザーバー】 ランドブレイン(株) 石村 壽浩	【オブザーバー】 ランドブレイン(株) 井口 賢人	【オブザーバー】 ランドブレイン(株) 佐久間 志保

令和5年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 事業報告書

会議開催

■開催日 令和5年6月26日 勝浦市役所4階大会議室

報 告

- (1) 令和4年度協議会事業報告及び決算報告について
- (2) 令和4年度デマンドタクシー運行実績について

議 題

- (1) デマンドタクシー利用者アンケートの実施について
- (2) 令和6年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について

■開催日 令和5年11月17日 勝浦市役所4階大会議室

報 告

- (1) デマンドタクシー利用者アンケートの結果について
- (2) 地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について

議 題

- (1) 令和5年度地域公共交通確保事業維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について

■開催日 令和6年1月31日 勝浦市芸術文化交流センター大会議室

報 告

- (1) 地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について

議 題

- (1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

■開催日 令和6年3月27日 勝浦市芸術文化交流センター大会議室

議 題

- (1) 路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について
- (2) デマンドタクシーの運行拡充について
- (3) 令和6年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について
- (4) 協議会委員の追加について

事業内容

■令和6年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の提出（令和5年6月）

■デマンドタクシー利用者アンケート（令和5年7月～8月）

■令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る事業評価の提出（令和6年1月）

令和5年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 収支決算書

1 歳 入

(単位：円)

科 目	予算現額			収入済額	比較	備考
	当初予算額	補正額	計			
1 負担金	205,000	0	205,000	205,000	0	勝浦市地域公共交通活性化協議会負担金
4 諸収入	0	0	0	5	5	預金利息
合 計	205,000	0	205,000	205,005	5	

2 歳 出

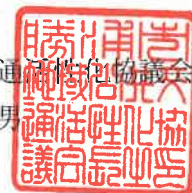
(単位：円)

科 目	予算現額			支出済額	不用額	備考
	当初予算額	補正額	計			
1 運営費	205,000	0	205,000	185,020	19,980	
1会議費	197,000	0	197,000	179,960	17,040	委員報酬 148,500 委員旅費 31,460
2事務費	8,000	0	8,000	5,060	2,940	振込手数料 5,060
合 計	205,000	0	205,000	185,020	19,980	

歳入総額205,005円と歳出総額185,020円との差引残額19,985円は、勝浦市一般会計に戻入するものとして、繰越額は0円とする。

令和6年3月31日

勝浦市地域公共交通活性化協議会
会長 竹下 正男



監 査 報 告 書

令和5年度勝浦市地域公共交通活性化協議会収支決算について、関係帳簿、書類等を審査したところ、その内容は正確であり、事務処理も適正であると認めた。

以上について、勝浦市地域公共交通活性化協議会設置規約第14条の規定により報告する。

令和6年5月24日

監査委員

吉野 安男



監査委員

須金 重治



令和6年度 勝浦市地域公共交通活性化協議会 事業計画

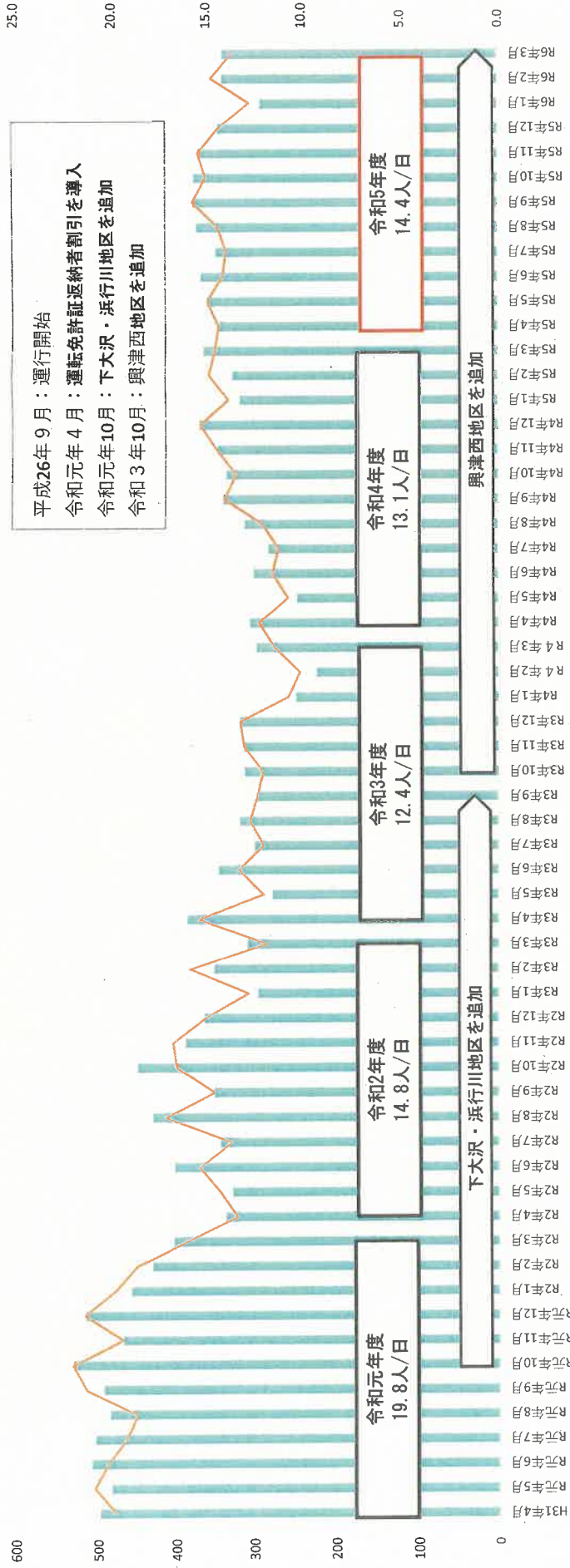
事業内容
<p>■地域公共交通計画に係る実施事業の進捗確認・事業評価</p> <p>■令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出（令和6年6月）</p> <p>■令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価の提出（令和7年1月）</p>

会議開催予定
<p>■開催日 令和6年6月</p> <p>会 場 未定</p> <p>議題等 ・令和5年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業報告及び決算報告 ・令和5年度デマンドタクシーの運行実績 ・地域公共交通計画に係る事業評価について ・令和7年度地域公共交通確保維持改善事業に係る地域公共交通計画認定申請について</p>
<p>■開催日 令和6年8月頃</p> <p>会 場 未定</p> <p>議題等 ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</p>
<p>■開催日 令和6年11月頃</p> <p>会 場 未定</p> <p>議題等 ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</p>
<p>■開催日 令和7年1月頃</p> <p>会 場 未定</p> <p>議題等 ・令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</p>
<p>■開催日 令和7年3月頃</p> <p>会 場 未定</p> <p>議題等 ・令和7年度勝浦市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）及び予算（案）について ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について</p>

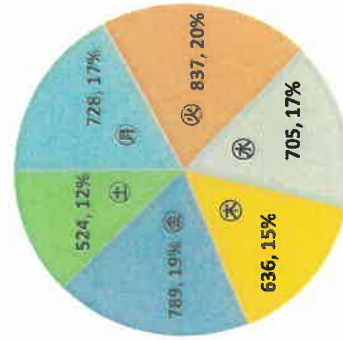
デマンドタクシー運行実績

1月当たりの乗車人数 (棒グラフ・左目盛り)

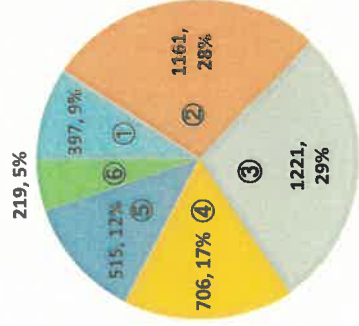
1日当たりの乗車人数 (折線グラフ・右目盛り)



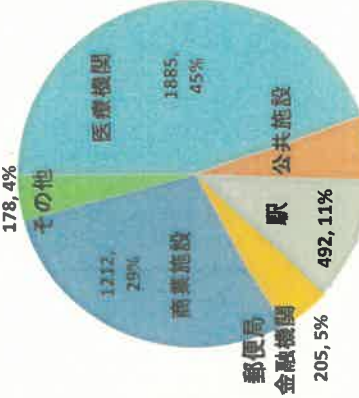
曜日別・乗車人数



便別・乗車人数



目的地別・乗車人数



運転免許証返納者による利用



運転免許証返納者の利用割合

年度	割合
R2	10.0%
R3	10.5%
R4	13.5%
R5	15.0%

【令和5年度運行実績】

- 運行日数 293日
- 乗車人数 4,212人 (前年度比+382人)
- 1日当たり乗車人数 14.4人 (前年度比+1.3人)

【考察】

乗車数は前年度と比較して、およそ380人以上増加している。1日あたりの乗車数も14.4人であり、勝浦市地域公共交通計画における目標値として掲げた15.0人にはいかないものの、新型コロナウイルス感染症の位置付けが令和5年5月8日から5類感染症へ移行されたことに伴い外出等の行動制限がなくなることによる増加であるものと考えられる。

また、運転免許証返納者の利用率が増加しており、超高齢化社会を向かえ、運転免許の返納者も今後増加することが考えられます。地域公共交通計画の中で、デマンドタクシーを利用した全ての方を対象としたアンケートにおいてもおよそ40%の方が世帯として自家用車による移動手段をたないこととされていることから、今後についても増加していくことと考えるため、運転免許証返納者に対して継続的に周知をしていく必要がある。

勝浦市地域公共交通活性化協議会設置規約第6条の規定により、会長は勝浦市副市長をもって充て、副会長（2名）は会長が指名し、監査（2名）は会長が任命することとなっている。

	所属元役職名	氏 名	改選前役職名	改選後役職名
1	勝浦市 副市長	加藤 正倫	会長	会長
2	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人		
3	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当 課長	伊藤 昌央		
4	勝浦警察署 地域交通課長	石井 正志		
5	夷隅土木事務所 所長	宮下 直也		
6	千葉県バス協会 専務理事	成田 斉		
7	千葉県タクシー協会 常任理事 外房支部長	大矢 昌明		
8	東日本旅客鉄道㈱ 勝浦駅長	小口 宗昭		
9	小湊鉄道㈱ 塩田営業所長	深山 宏樹	副会長	
10	日東交通㈱ 鴨川営業所長	松井 大樹		
11	エミタスタクシー南総㈱ 取締役支配人	古川 実	副会長	
12	小湊鉄道労働組合 書記長	清水 崇志		
13	勝浦市区長会連絡協議会 上野地区会長	吉野 安男	監査	
14	勝浦市区長会連絡協議会 総野地区会長	渡邊 浩之		
15	勝浦市民生委員児童委員協議会 会長	内田 和夫		
16	勝浦市社会福祉協議会 監事	須金 重治	監査	
17	勝浦市 都市建設課長 (市道・道路管理担当)	栗原 幸雄		
18	勝浦市 福祉課長 (障害者福祉担当)	水野 伸明		
19	勝浦市 学校教育課長 (学校教育担当)	紫関 左恭		
20	勝浦市 高齢者支援課長 (高齢者福祉・支援担当)	篠宮 寛敬		

勝浦市地域公共交通活性化協議会設置規約

(目的)

第1条 勝浦市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するとともに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）に基づく地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）及び地域公共交通確保維持改善事業に係る計画（以下「事業計画」という。）の策定に関する協議及び実施に係る連絡調整を行うために設置する。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を千葉県勝浦市新官1343番地1 勝浦市役所庁舎内に置く。

(業務)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等に関する事項についての協議
- (2) 交通計画及び事業計画の策定及び変更の協議に関すること。
- (3) 交通計画及び事業計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (4) 交通計画及び事業計画に位置付けられた事業の実施に関すること。
- (5) 市の総合的な交通施策に関する事項についての協議
- (6) 市運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項についての協議
- (7) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要なことについての協議

(組織)

第4条 協議会の委員は、次の各号に掲げる者により組織する。

- (1) 副市長又は市長の指名する市職員
- (2) 国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長又はその指名する者
- (3) 千葉県総合企画部交通計画課長又はその指名する者
- (4) 勝浦警察署長又はその指名する者
- (5) 夷隅土木事務所長又はその指名する者
- (6) 社団法人千葉県バス協会会長又はその指名する者
- (7) 千葉県タクシー協会会長又はその指名する者
- (8) JR東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長又はその指名する者
- (9) 一般乗合旅客自動車運送事業者
- (10) 一般乗用旅客自動車運送事業者
- (11) 一般旅客自動車運送事業者労働組合代表又はその指名する者
- (12) 市民及び利用者の代表
- (13) その他協議会の運営上必要と認める者

(任期)

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前条の委員のうち、行政機関の職員及び団体の役員が協議会の委員となっている場合の当該委員の任期については、その職にある期間とする。
- 3 前項以外の委員については、欠員により新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、勝浦市副市長をもって充て、副会長は2名とし委員の中から会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めるときに招集する。

- 2 会長は、会議の議長となり、議事を総理する。
- 3 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、欠席する委員からあらかじめ会長あてに、その権限を会長に委任する旨の届出があったときは、当該欠席委員の数を出席委員の数に加えることができる。
- 4 委員は、会長が認める場合に限り、会議への出席及び議決権の行使を、当該委員と同等の資格を有する者に委任することができる。
- 5 協議会の議決は出席委員の多数決をもって決する。なお、採決の結果可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 6 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(関係者の出席等)

第8条 会長は、協議会の会議において必要と認めるときは、関係者の出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(協議結果の取扱い)

第9条 協議会において協議が調った事項について、関係者は、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(幹事会)

第10条 協議会に提案する事項について、協議又は調整を行うため、必要に応じ協議会に幹事会を置くことができる。

- 2 幹事会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(分科会)

第11条 第3条各号に掲げる事項について専門的な調査及び検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

- 2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第12条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局は、勝浦市企画課に置く。
- 3 事務局に事務局長及び事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。
- 4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第13条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(監査)

第14条 協議会に監査委員を2人置く。

- 2 協議会の監査委員は、委員の中から会長が任命する。
- 3 監査委員は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

第15条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(報酬)

第16条 協議会等に出席した委員等に対しては、予算の範囲内で報酬を支給することができる。

(費用弁償)

第17条 委員等が協議会等に出席し、又は協議会の職務のため旅行したときは、予算の範囲内で費用弁償として旅費を支給することができる。

2 前項の規定により支給する旅費の額は、会長が認めるものの実費額とする。

(協議会が解散した場合の措置)

第18条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(補則)

第19条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成25年7月9日から施行する。

(委員の任期の特例措置)

2 第5条の規定にかかわらず、最初の委員任期は、平成27年3月31日までとする。

(会議招集の特例措置)

3 第7条第1項の規定にかかわらず、第1回協議会は勝浦市が招集する。

附 則

この規約は、令和4年6月22日から施行する。

【案】

道路運送法施行規則第 4 条第 2 項に基づく地域公共交通会議等 において協議が調っていることの証明書

令和 6 年 6 月 26 日に開催した勝浦市地域公共交通活性化協議会において、下記事項に関し、協議が調ったことを証明する。

記

1. 協議が調っている路線又は営業区域

・勝浦市内の上野地区全域・大沢・浜行川・興津の一部・小松野・大楠・松部・串浜の一部・新官の一部・部原

・運行方法

デマンド方式による運行

運行エリア外への運行は、市内医療機関、鉄道、商業施設、公共施設及び御宿町の一部に共通乗降場所を設置（別添運行エリア図参照）

2. 協議が調っている運行系統又は運送の区間

・区域運行（デマンド型乗合タクシー）

3. 適用する期間又は区間その他の条件を付す場合には、その条件

・適用する期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 11 年 9 月 30 日

・運行期間

月～土曜日とする。ただし、日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）は運休

・運行時間 午前 8 時から午後 6 時まで

・運行事業者 エミスタタクシー南総株式会社

千葉県勝浦市墨名 700

令和 6 年 6 月 日

勝浦市地域公共交通活性化協議会

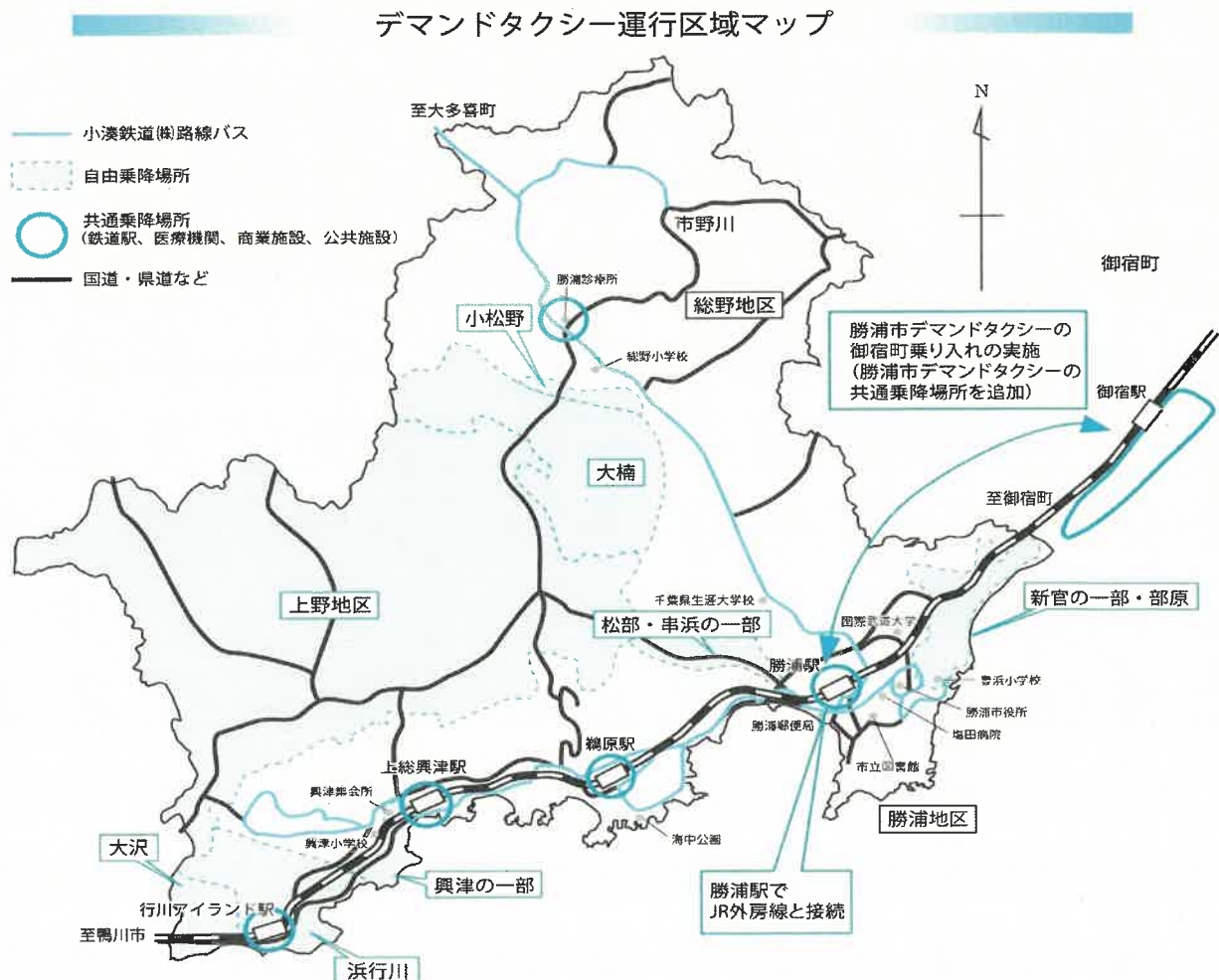
会 長 加 藤 正 倫

■デマンドタクシーの運行に関する変更内容

- ①川津・勝浦・浜勝浦の各区に共通乗降場所を追加設置
- ②勝浦地区内における共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更
- ③新官・部原の各区を自由乗降区域として拡充（新官は沿岸地域に限るものとする。）
- ④廃止を検討している路線バス「勝浦・御宿線」における御宿町内のバス停に共通乗降場所を設置
- ⑤御宿町内から勝浦地区内への共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更（御宿町内の共通乗降場所間での乗降は不可）
- ⑥大人運賃・小学生運賃の改定予定
- ⑦運行台数を2台から3台に増加（1台増加）
- ⑧オンライン予約、効率的なルート検索を可能とする運行管理システムを導入（予約時間を迎車開始時刻の1時間前までから30分前までに変更）

■変更後の運行内容

○運行区域



○運行日 祝日・12/29～1/3を除く月曜日～土曜日

○運行時間

	迎車開始時刻
1便	8:00
2便	9:30
3便	11:00 (上り) 11:45 (下り)
4便	13:30
5便	15:00
6便	16:30

○運賃 (運賃は別途協議により決定)

区分	運賃
大人	400円→500円
中高生	200円
小学生	100円→無料
未就学児 (保護者同伴)	無料
運転免許証返納者	200円
障害者手帳所持者及び介護者	各200円

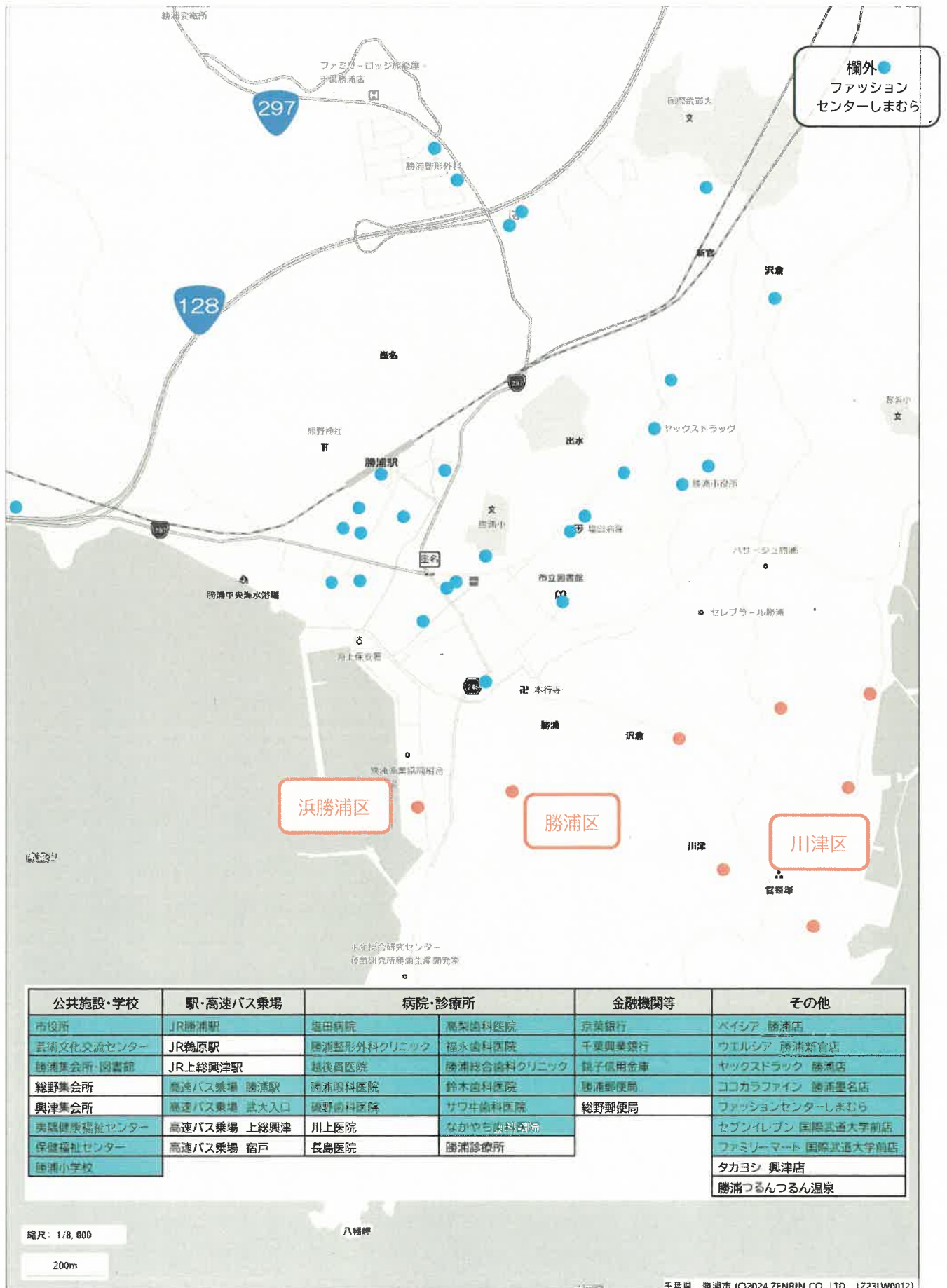
○予約時間 第2便以降は迎車開始時刻の30分前まで (第1便は前日まで)

○乗降ルール

乗車 (乗る) 場所	降車 (降りる) 場所	利用の可否	備考
自由乗降区域 上野地区 (東急エリアを除く) 大沢、浜行川、興津の一部 小松野、大楠松部の一部 松部・串浜の一部 新官の一部、部原	自由乗降区域	○	-
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「内」)	○	-
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「外」)	○	-
	共通乗降場所【御宿町内】	×	新規
共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「内」) 公共施設、医療機関、商業施設等	自由乗降区域	○	-
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「内」)	○	変更
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「外」)	×	-
	共通乗降場所【御宿町内】	○	新規
共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「外」) 公共施設、医療機関、商業施設等	自由乗降区域	○	-
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「内」)	×	-
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「外」)	×	-
	共通乗降場所【御宿町内】	×	新規
共通乗降場所【御宿町内】 現在のバス停の位置	自由乗降区域	×	新規
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「内」)	○	新規
	共通乗降場所 【勝浦市内】(勝浦地区「外」)	×	新規
	共通乗降場所【御宿町内】	×	新規

詳細

- ①川津・勝浦・浜勝浦の各区に共通乗降場所を追加設置
- ②勝浦地区内における共通乗降場所間での乗降を可能とする運行ルールの変更



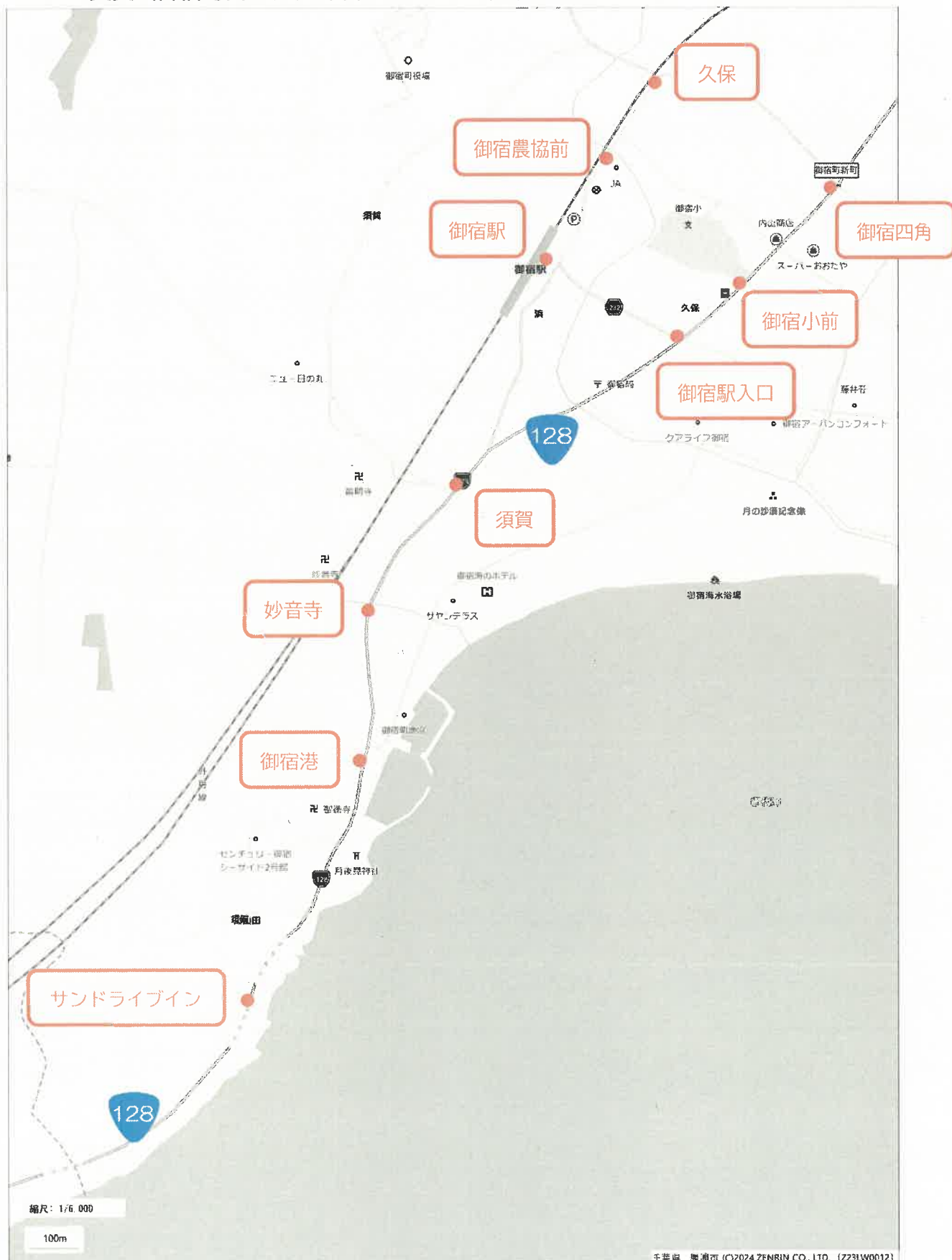
③新官・部原の各区を自由乗降区域として拡充
※新官区は沿岸地域に限るものとする。



詳細

④廃止を検討している路線バス「勝浦・御宿線」における御宿町内のバス停を
共通乗降場所と設置

⑤御宿町内から勝浦地区内への共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更（御宿町内の共通乗降場所間での乗降は不可）



勝浦市地域公共交通計画

(変更部分のみ 赤字修正)

令和6年6月

勝浦市地域公共交通活性化協議会

ページ	修正前	修正後																																																												
	<p>(2) 公共交通網のあり方</p> <p>1) 公共交通再編の基本的な考え方</p> <p>勝浦市の公共交通ネットワークは、基本理念である「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」に向けて、次の5つに事項に重点を置き、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。</p> <div><p>①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現</p><p>②観光ニーズへの対応</p><p>③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応</p><p>④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現</p><p>⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現</p></div> <p>2) 各公共交通機関の役割</p> <p>勝浦市は東西に約14.0 km、南北に約12.5 kmと東西に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。</p> <p>そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。</p> <p>デマンドタクシーについては、国土交通省による地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）による補助金を受けて運行を維持する。</p> <p>■各公共交通機関の機能分担</p> <table><tr><th rowspan="2">分類</th><th rowspan="2">交通機関</th><th rowspan="2">位置付け・役割</th><th colspan="2">移動量・距離※</th></tr><tr><th>都市間</th><th>市内</th></tr><tr><td rowspan="2">幹線</td><td>広域幹線公共交通</td><td>・鉄道（JR外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線） 路線バス</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>幹線公共交通</td><td>・勝浦駅と市内や御宿駅、大多喜町を結ぶ移動を担う交通</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">支線</td><td>地域内公共交通</td><td>・主な地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通</td><td>-</td><td>◎</td></tr><tr><td>補完公共交通</td><td>・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通</td><td>△</td><td>○</td></tr><tr><td>特定の利用者などの移動を担う交通</td><td colspan="2">スクーールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー</td><td>△</td><td>△</td></tr></table> <p>※移動量や距離の長さ…◎：多い（長い）、○：やや多い（やや長い）、△：少ない（短い）</p>	分類	交通機関	位置付け・役割	移動量・距離※		都市間	市内	幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線） 路線バス	◎	△	幹線公共交通	・勝浦駅と市内や御宿駅、大多喜町を結ぶ移動を担う交通	○	○	支線	地域内公共交通	・主な地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	-	◎	補完公共交通	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○	特定の利用者などの移動を担う交通	スクーールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー		△	△	<p>(2) 公共交通網のあり方</p> <p>1) 公共交通再編の基本的な考え方</p> <p>勝浦市の公共交通ネットワークは、基本理念である「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」に向けて、次の5つに事項に重点を置き、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。</p> <div><p>①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と地域内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現</p><p>②観光ニーズへの対応</p><p>③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応</p><p>④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現</p><p>⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現</p></div> <p>2) 各公共交通機関の役割</p> <p>勝浦市は東西に約14.0 km、南北に約12.5 kmと東西に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。</p> <p>そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。</p> <p>デマンドタクシーについては、国土交通省による地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）による補助金を受けて運行を維持する。</p> <p>■各公共交通機関の機能分担</p> <table><tr><th rowspan="2">分類</th><th rowspan="2">交通機関</th><th rowspan="2">位置付け・役割</th><th colspan="2">移動量・距離※</th></tr><tr><th>都市間</th><th>市内</th></tr><tr><td rowspan="2">幹線</td><td>広域幹線公共交通</td><td>・鉄道（JR外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線） 路線バス</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>幹線公共交通</td><td>・勝浦駅と市内や大多喜町を結ぶ移動を担う交通</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td rowspan="2">支線</td><td>地域内公共交通</td><td>・勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内への移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通</td><td>-</td><td>◎</td></tr><tr><td>補完公共交通</td><td>・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通</td><td>△</td><td>○</td></tr><tr><td>特定の利用者などの移動を担う交通</td><td colspan="2">スクーールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー</td><td>△</td><td>△</td></tr></table> <p>※移動量や距離の長さ…◎：多い（長い）、○：やや多い（やや長い）、△：少ない（短い）</p>	分類	交通機関	位置付け・役割	移動量・距離※		都市間	市内	幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線） 路線バス	◎	△	幹線公共交通	・勝浦駅と市内や大多喜町を結ぶ移動を担う交通	○	○	支線	地域内公共交通	・勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内への移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	-	◎	補完公共交通	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○	特定の利用者などの移動を担う交通	スクーールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー		△	△
分類	交通機関				位置付け・役割	移動量・距離※																																																								
		都市間	市内																																																											
幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線） 路線バス	◎	△																																																										
	幹線公共交通	・勝浦駅と市内や御宿駅、大多喜町を結ぶ移動を担う交通	○	○																																																										
支線	地域内公共交通	・主な地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	-	◎																																																										
	補完公共交通	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○																																																										
特定の利用者などの移動を担う交通	スクーールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー		△	△																																																										
分類	交通機関	位置付け・役割	移動量・距離※																																																											
			都市間	市内																																																										
幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線） 路線バス	◎	△																																																										
	幹線公共交通	・勝浦駅と市内や大多喜町を結ぶ移動を担う交通	○	○																																																										
支線	地域内公共交通	・勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内への移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	-	◎																																																										
	補完公共交通	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○																																																										
特定の利用者などの移動を担う交通	スクーールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー		△	△																																																										

■ 地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用したデマンドタクシーの位置付け

役割	主に地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通で、市街地商店街等へのアクセス性の向上により、買い物支援の役割を担う重要な交通である。
維持・確保策	鉄道（JR 外房線）や路線バスとの連絡を確保しながら、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を行う。
必要性	公共交通空白地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・確保のため、市の財政負担だけでは運行の維持が難しく、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用により、生活交通手段を確保・維持する必要がある。

3) 交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担うため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要がある。交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所で、「勝浦市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市交流拠点」や「地域交流拠点」に位置付けられている「勝浦駅」と「上総興津駅」とする。



勝浦駅



上総興津駅

■ 地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用したデマンドタクシーの位置付け

役割	勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内における移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通で、市街地商店街等へのアクセス性の向上により、買い物支援の役割を担う重要な交通である。
維持・確保策	鉄道（JR 外房線）や路線バスとの連絡を確保しながら、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を行う。
必要性	公共交通空白地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・確保のため、市の財政負担だけでは運行の維持が難しく、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用により、生活交通手段を確保・維持する必要がある。

3) 交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担うため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要がある。交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所で、「勝浦市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市交流拠点」や「地域交流拠点」に位置付けられている「勝浦駅」と「上総興津駅」とする。



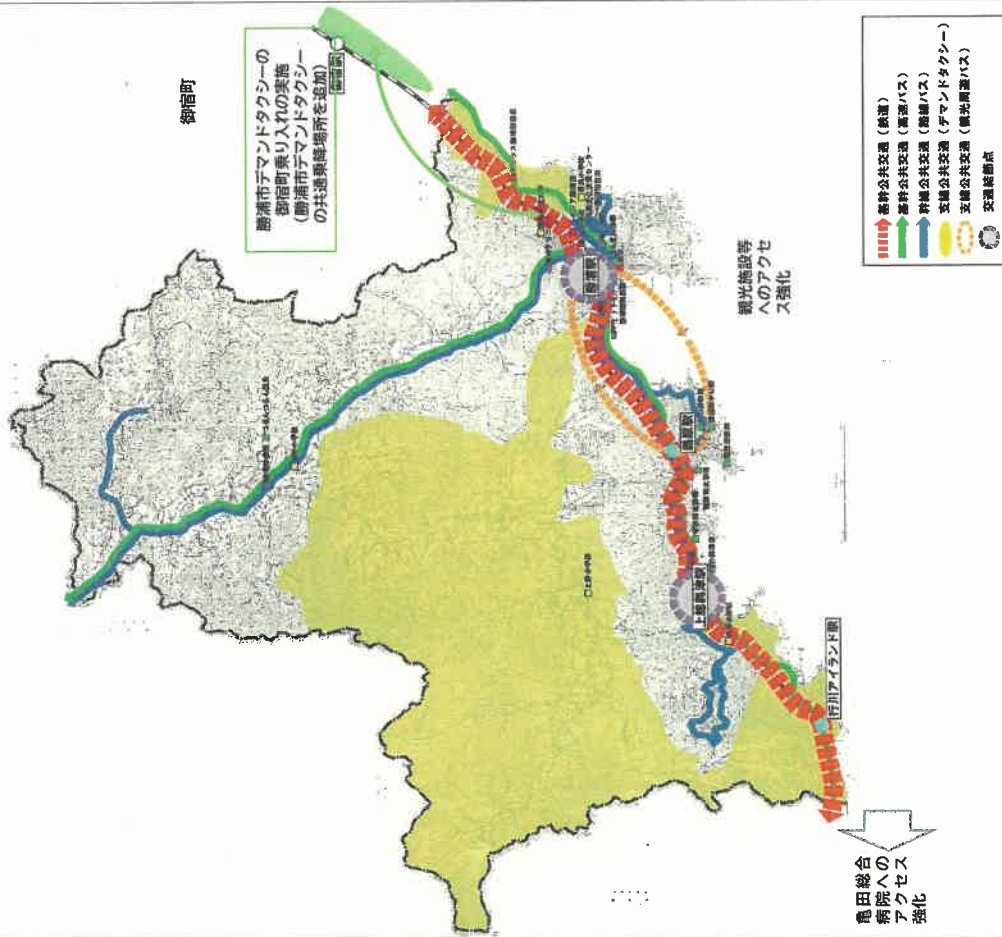
勝浦駅



上総興津駅

■ ジーメーシ 公共交通格形成

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鶴川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士との相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現



ページ

修正前

(4) 実施事業の概要

実施事業について、目標ごとに事業概要や実施主体、実施時期を整理する。

目標① 市内の移動支援の充実

【事業1】デマンドタクシーの運行サービスの見直し

①事業概要

デマンドタクシーについては、利用者数が増加傾向で行政負担額が増加傾向となっている中で、路線バスやタクシーとの役割分担を図りながら、運行地域においては、試乗会や利用方法に関する説明会を開催するなど、利用促進に向けた取組の実施を検討するとともに、利用者のニーズを的確に把握した上で、満足度の高い運行に向けたサービスの見直しを継続的に検討・実施する。

また、地域内公共交通として地域内の移動と交通不便地域の解消を担う役割であるため、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（フィーダー補助）」を活用し、財源の安定的な確保・維持を目指す。

②実施主体：勝浦市、バス事業者、地域

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
デマンドタクシーの運行サービスの見直し	検討、協議・調整	→			
	実施				→
	フィーダー補助の活用				→

■ 現行のデマンドタクシー事業及び実施主体の概要

路線名	デマンドタクシー
自由乗降区域	上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠、松部・串浜の一部、
共通乗降場所	勝浦市内の公共施設、医療機関、商業施設等、御宿町内の乗降場所
事業許可区分	一般乗合（区域運行）
運行態様	予約制・乗合
実施主体	勝浦市（交通事業者へ委託）
補助事業の活用	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）

【事業2】タクシー事業の維持・充実

①事業概要

タクシーは自宅から目的地までドア・ツー・ドアで移動できるため、個別的できめ細かな対応が可能であり、鉄道駅やバス停留所まで歩くことが困難な高齢者などにとって重要な交通機関である。

一方で、「運賃」や「料金・サービスなどの運行情報案内」に対する改善の声があり、デマンドタクシーや既存公共交通機関との役割分担を踏まえた上で、高齢者の外出支援のための「高齢者タクシー利用料助成事業」の継続及び必要に応じた見直しを行うとともに、タクシー事業の維持・充実に向け、タクシーサービスの周知や情報提供を強化する。

②実施主体：タクシー事業者、勝浦市

78

ページ

修正前

修正後

【事業5】路線バスの維持

①事業概要

路線バス4路線は、勝浦駅と市内や御宿町、大多喜町を結ぶ移動を担う重要な幹線公共交通として、鉄道や高速バスなど他の交通事業者との連携により乗り継ぎの円滑化を図りながら、「バス路線運行維持補助金」などを活用し維持するとともに、利用促進にあたっては、通学者を対象とした路線バス利用に対する支援施策の実施を検討する。

また、利用状況や市民等の移動ニーズを的確に把握した上で、新規路線の運行を含めた効率的で利便性の高い路線の再編について継続的に検討・協議を行う。

②実施主体：バス事業者、勝浦市、近隣市町

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
路線バスの維持・再編	検討・協議・調整・実施				→
					→

【事業6】亀田総合病院（鴨川市）へのアクセス検討

①事業概要

亀田総合病院（鴨川市）は市民アンケート調査で行きたい場所として2番目に多いが、勝浦市内から鉄道や路線バスで移動する場合、2回以上乗換えが必要となっている。

病院直通のシャトルバスの運行など、亀田総合病院へのアクセスについてバス事業者や近隣市と協議・調整を図りながら検討を進める。

②実施主体：バス事業者、勝浦市、近隣市

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
亀田総合病院（鴨川市）への直通バスの運行	検討・協議・調整・実施				→
					→

【事業5】路線バスの維持

①事業概要

路線バス3路線は、勝浦駅と市内各地域や大多喜町とを結ぶ移動を担う重要な幹線公共交通として、鉄道や高速バスなど他の交通事業者との連携により乗り継ぎの円滑化を図りながら、「バス路線運行維持補助金」などを活用し維持するとともに、利用促進にあたっては、通学者を対象とした路線バス利用に対する支援施策の実施を検討する。

また、利用状況や市民等の移動ニーズを的確に把握した上で、**路線の延伸及び廃止のほか、代替交通としてのデマンドタクシーの運行拡充など、を含めた効率的で利便性の高い路線の再編について継続的に検討・協議を行う。**

②実施主体：バス事業者、勝浦市、近隣市町

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
路線バスの維持・再編	検討・協議・調整・実施				→
					→

【事業6】亀田総合病院（鴨川市）へのアクセス検討

①事業概要

亀田総合病院（鴨川市）は市民アンケート調査で行きたい場所として2番目に多いが、勝浦市内から鉄道や路線バスで移動する場合、2回以上乗換えが必要となっている。

病院直通のシャトルバスの運行など、亀田総合病院へのアクセスについてバス事業者や近隣市と協議・調整を図りながら検討を進める。

②実施主体：バス事業者、勝浦市、近隣市

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
亀田総合病院（鴨川市）への直通バスの運行	検討・協議・調整・実施				→
					→

80

様式第 1－1（日本産業規格 A 列 4 番）

勝 交 活 第 3 号
令和 6 年 6 月 日

国土交通大臣 殿

勝浦市地域公共交通活性化協議会
千葉県勝浦市新官 1 3 4 3 番地 1
会 長 加 藤 正 倫

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、
関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

勝浦市地域公共交通計画

地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に関する記載箇所一覧表

1. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
勝浦市地域公共交通計画 72・73・74ページ 御宿町地域公共交通計画 47・48・49ページ
2. 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
勝浦市地域公共交通計画 73ページ 御宿町地域公共交通計画 54ページ
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
勝浦市地域公共交通計画 78ページ 御宿町地域公共交通計画 52ページ
4. 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法
勝浦市地域公共交通計画 85・86・87ページ 御宿町地域公共交通計画 51ページ

（添付資料）

・上記記載の地域公共交通計画の該当ページ（写し）

※ご参考

・要綱第17条第1項

陸上交通（地域内フィーダー系統）に係る地域公共交通確保維持事業（以下この条において単に「地域公共交通確保維持事業」という。）を行う場合は、地域公共交通計画に、当該地域公共交通計画の計画期間内における次に掲げる事項について具体的に記載するものとする。

- 一 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割
- 二 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性
- 三 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要
- 四 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法

(2) 公共交通網のあり方

1) 公共交通再編の基本的な考え方

勝浦市の公共交通ネットワークは、基本理念である「生活しやすいまちづくりを支える公共交通網の構築」に向けて、次の5つに事項に重点を置き、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と地域内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現

2) 各公共交通機関の役割

勝浦市は東西に約 14.0 km、南北に約 12.5 kmと東西に長い市域となっており、目的地・外出パターンに合った直行性を追求した公共交通網では、路線長が長大となるため、利便性や効率性などの低下が懸念される。

そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、効率的で利便性の高い公共交通網の構築を目指す。

デマンドタクシーについては、国土交通省による地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）による補助金を受けて運行を維持する。

■各公共交通機関の機能分担

分類		交通機関	位置付け・役割	移動量・距離※	
				都市間	市内
幹線	広域幹線公共交通	・鉄道（JR 外房線） ・高速バス（安房小湊・御宿～東京線）	・都市間を連絡し、広域的な移動を担う交通	◎	△
	幹線公共交通	路線バス	・勝浦駅と市内や大多喜を結ぶ移動を担う交通	○	○
支線	地域内公共交通	デマンドタクシー	・勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内への移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通	—	◎
補完公共交通		タクシー	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、個別のニーズに機動的や柔軟的に対応可能な交通	△	○
特定の利用者などの移動を担う交通		スクールバス、大多喜自動車学校送迎バス、東急ゴルフコース送迎バス、介護タクシー	・通学や教習所、ゴルフなど特定の利用者などの移動を担う交通	△	△

※移動量や距離の長さ…◎：多い（長い）、○：やや多い（やや長い）、△：少ない（短い）

■地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用したデマンドタクシーの位置付け

役割	勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内における移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通で、市街地商店街等へのアクセス性の向上により、買い物支援の役割を担う重要な交通である。
維持・確保策	鉄道（JR 外房線）や路線バスとの連絡を確保しながら、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を行う。
必要性	公共交通空白地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・確保のため、市の財政負担だけでは運行の維持が難しく、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）の活用により、生活交通手段を確保・維持する必要がある。

3）交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、幹線、支線、補完公共交通の接続性を高める重要な役割を担うため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要がある。交通結節点は、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所で、「勝浦市都市計画マスタープラン」の将来都市構造で「都市交流拠点」や「地域交流拠点」に位置付けられている「勝浦駅」と「上総興津駅」とする。



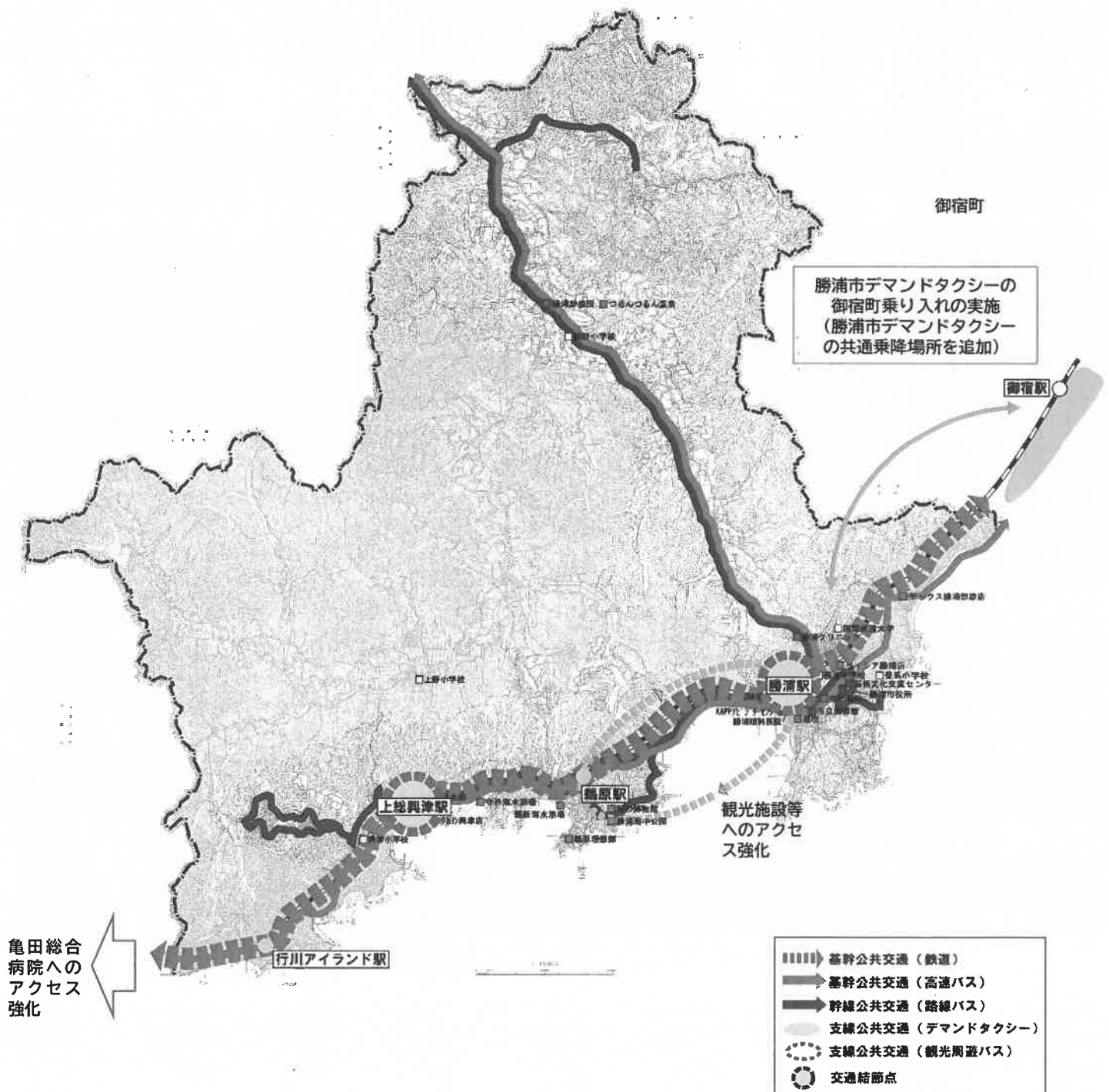
勝浦駅



上総興津駅

■公共交通骨格形成イメージ

- ①広域アクセス（鉄道、高速バス、路線バス）と市内交通（路線バス、デマンドタクシー）との組合せによる輸送効率の向上の実現
- ②観光ニーズへの対応
- ③亀田総合病院（鴨川市）等市外移動ニーズへの対応
- ④交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現
- ⑤観光資源や商業施設などまちづくりと一体的な公共交通の実現



(4) 実施事業の概要

実施事業について、目標ごとに事業概要や実施主体、実施時期を整理する。

目標① 市内の移動支援の充実

【事業1】デマンドタクシーの運行サービスの見直し

①事業概要

デマンドタクシーについては、利用者数が増加傾向で行政負担額が増加傾向となっている中で、路線バスやタクシーとの役割分担を図りながら、運行地域においては、試乗会や利用方法に関する説明会を開催するなど、利用促進に向けた取組の実施を検討するとともに、利用者のニーズを的確に把握した上で、満足度の高い運行に向けたサービスの見直しを継続的に検討・実施する。

デマンドタクシーは、勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内における移動手段として公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う役割であるため、「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（フィーダー補助）を活用し、財源の安定的な確保・維持を目指す。

②実施主体：勝浦市、御宿町、バス事業者、地域

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）			
		令和5	令和6	令和7	令和8
デマンドタクシーの 運行サービス見直し	検討、協議・調整	→			
	実施		→	→	→
	フィーダー補助の活用	→	→	→	→

■現行のデマンドタクシー事業及び実施主体の概要

路線名	デマンドタクシー
自由乗降区域	上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠、松部・串浜の一部、新官の一部、部原
共通乗降場所	勝浦市内の公共施設、医療機関、商業施設等、御宿町内の乗降場所
事業許可区分	一般乗合（区域運行）
運行態様	予約制・乗合
実施主体	勝浦市（交通事業者へ委託）
補助事業の活用	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）

(5) 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

計画の達成状況を評価するため、各目標に対し、以下のように評価指標を設定する。

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスや公共交通機関同士の相互連携による利便性の高い公共交通網の構築を目指す	①市内の移動支援の充実	デマンドタクシー1日平均利用者数	12.4人	15.0人	※1
		デマンドタクシーの利用者満足度	53.3%	60.0%	※2
	②移動ニーズに即した広域アクセスの強化	勝浦駅1日平均利用者数	661人	1,000人	※3
		市内停留所における高速バスの年間利用者数	14,633人	26,000人	※4
	③利便性の高い公共交通環境整備	交通結節点整備箇所数	—	2箇所	※5
2 観光需要を考慮した誰もが利用しやすい環境整備による公共交通の利用促進を目指す	④観光施策と連携した移動支援及び利用促進	観光施設等との連携による利用促進活動の導入件数	—	1件以上	※6
3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す	⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室開催回数	—	延12回	※7
		デマンドタクシー運行収支率	8.8%	10.5%	※8
		公共交通への公的資金投入額	2,090万円	2,090万円	※9

- ※1 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※2 令和3年度デマンドタクシー利用者アンケート調査の総合的な満足度で「満足」＋「やや満足」
- ※3 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※4 勝浦市総合計画「基本計画」（令和4年度中策定予定）の目標値
- ※5 勝浦駅及び上総興津駅
- ※6 観光施設や商業施設との連携サービスを1件以上実施
- ※7 乗り方教室を市内小中学校（6校）を対象に各校2回実施
- ※8 令和2年度運行実績
- ※9 現況公的資金投入額：バス路線運行維持補助金1,385万円＋デマンドタクシー705万円＝2,090万円

6 計画の進行管理

(1) 目標の達成状況の評価及び社会情勢の変化等に伴う計画の見直し

「勝浦市地域公共交通計画」の推進に当たり、交通事業者の運転手の高齢化や担い手の不足などにより、公共交通ネットワークの維持・確保が困難な状況にある中で、今後人口減少社会における交通事業者の生産性の向上へ向けた移動の仕組みや自動運転などの先進技術開発など「人の移動」に関する社会情勢は大きく変革することが予想される。

このため、社会情勢を踏まえ、目標の達成状況や利用状況などを評価し、必要に応じて見直し、改善する「PDCAサイクル」の仕組みにより進行管理を実施し目標の達成を目指す。

本計画のPDCAサイクルの実行は、「勝浦市地域公共交通活性化協議会」において実施し、施策に係る関係者（市民、交通事業者、行政など）が施策効果の検証結果を共有する。

なお、評価・検証については、「毎年実施するPDCA」と、「計画の最終年度に実施する目標達成度に対するPDCA」による二重の組み合わせで進行管理を行う。

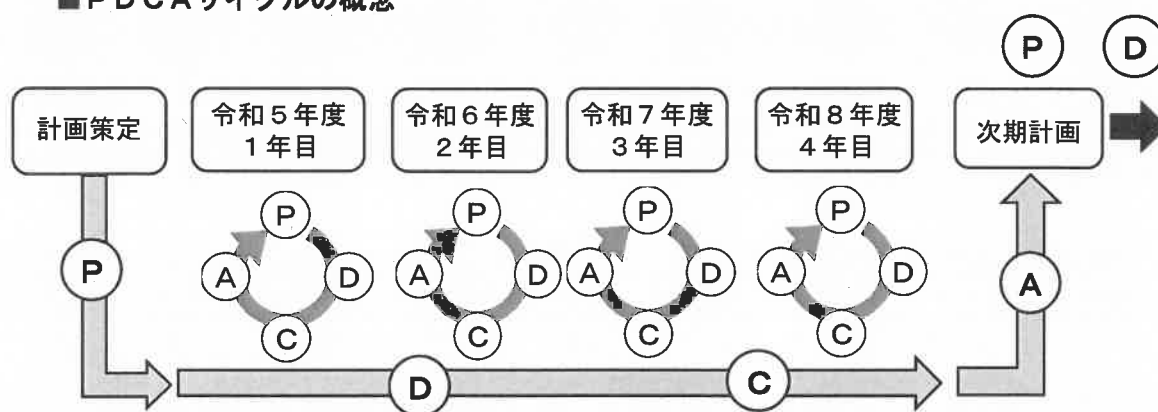
○事業実施状況の評価（年に1回実施）

公共交通への取組や運行状況について、事業の実施状況の評価を毎年度実施する。

○目標達成度の評価（計画期間最終年度に実施）

計画の目標値との比較により、事業の達成状況を検証する。ただし、公共交通の利用ニーズや利便性は、主な目的地である商業施設・病院などの整備、道路改良などのハード整備による周辺状況の変化に影響を受けやすいため、利用状況やニーズなどを把握・分析し、必要に応じて見直し・改善を図る。

■PDCAサイクルの概念



■各PDCAサイクルの概要

項目	事業実施状況の評価	目標達成度の評価
P（計画）	各路線などの運行計画の策定 各種施策の検討	勝浦市地域公共交通計画の策定
D（実行）	地域公共交通の運行 各種施策の実施	計画に掲げる各種施策の実施
C（評価）	運行・利用状況の評価 施策実施効果の評価	各種施策の実行による効果（目標値の達成状況）の評価
A（改善）	運行の見直し 各種施策の見直し	勝浦市地域公共交通計画の見直しの検討

(2) 評価の方法及びスケジュール

計画期間におけるPDCAサイクルの具体的なスケジュールと、検証するための調査概要は次の通りとする。

本計画の評価は、最終年度（令和8年度）に事業者から提供された利用実績や各種アンケート調査などから、計画及び公共交通網の評価を実施し、実施事業の見直し及び新たな事業を追加し、次期計画を策定する。

公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施するものとする。

■評価スケジュール

(年度)

項目		令和5	令和6	令和7	令和8
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○
	市民アンケート調査				○
	路線バス利用者アンケート調査				○
	デマンドタクシー利用者アンケート調査	○		○	
事業実施状況の評価		○	○	○	○
目標達成度の評価		○	○	○	○
計画・目標値の見直し※					○
勝浦市地域公共交通活性化協議会の開催		○	○	○	○

※必要に応じて適宜計画・目標値の見直しを実施

■関連調査概要

種別	主な調査項目
市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、高速バス、路線バス、デマンドタクシー、タクシー）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方
路線バス利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス
デマンドタクシー利用者アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者属性、利用特性（利用頻度、目的地） ・運行サービスの満足度と不満点

令和6年6月 日

(名称) 勝浦市地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

勝浦市内の公共交通は、広域幹線として市南部を東西にＪＲ外房線が通っており、北部及び東部に隣接する町との地域幹線として民間バス事業者によるバス路線が運行されている。これらの幹線系統が存在しない区域の公共交通を補完するため、平成１４年からコミュニティバスが地域内フィーダー系統として運行されていたが、狭隘な道路事情と点状とする交通需要を勘案し、平成２６年９月よりデマンドタクシーの運行に移行された。

上記の公共交通機関は、勝浦市内における移動手段として、通勤、通学や通院、買い物等の市民の日常の足となり、生活交通手段として重要な役割を果たしている。

また、これまでの協議会において本地域における公共交通の利便性向上を図るため路線バスの再編とデマンドタクシーの運行拡大をあわせて協議を重ね、交通事業者との協議も行い、令和６年１０月から勝浦市の運行するデマンドタクシーが生活圏を一体とする御宿町内へ乗り入れる計画となっております。

これらの状況を踏まえ、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消と利用者要望を反映した公共交通体系の維持・改善ため、引き続き地域公共交通確保維持事業の活用によるデマンドタクシーの運行等、生活交通手段の確保を行おうとするものである。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果**(1) 事業の目標**

- ・デマンドタクシー１日平均利用者数を１５．０人/日以上とする。
- ・デマンドタクシーの利用者満足度を６０．０％以上とする。
- ・デマンドタクシー運行収支率を１０．５％以上とする。

(勝浦市地域公共交通計画 Ｐ８５ 参照)

(2) 事業の効果

勝浦市の公共交通空白地域・公共交通不便地域を運行していた市民バスの車両では、きめ細かなルート設定がしにくく、山間地の狭い道路での走行も困難であったため、運行区域の延伸拡大による公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消は難しかった。このため、デマンドタクシーを運行することにより、狭隘な道路を有する山間地域等も運行可能であり、分散している少需要に対応が可能となる。

また、デマンドタクシー運行拡大に伴い、地域間移動の利便性向上を図るとともに市街地商店街や生活圏を一体とする御宿町等へのアクセス性が向上し、買い物等を目的とする市民が増加することで、地域経済の活性化を図る。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・デマンドタクシーの運行サービスの見直し（勝浦市・御宿町・交通事業者・地域）
- ・ICTを活用した効率性及び利便性の向上（勝浦市・交通事業者・観光関連施設）
- ・分かりやすい運行情報の提供（勝浦市・交通事業者・観光関連施設・商業施設）
- ・意識啓発を促す利用促進活動の展開（交通事業者・勝浦市・地域）
- ・モビリティ・マネジメントの推進による公共交通の利用促進（勝浦市・交通事業者・地域）

（勝浦市地域公共交通計画 P78・82・83 参照）

- ・勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ
（勝浦市・御宿町・勝浦デマンドタクシー運行事業者）
（御宿町地域公共交通計画 P52・54）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

別添の表1のとおり

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図る運行系統について、その運行に係る費用総額 31,907,700 円（予定）のうち、勝浦市から運行事業者への委託料については、運行収入、国庫補助金及び御宿町負担金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

【委託料】

1日当たりの委託料 108,900 円×運行日数（293日）-運賃収入-国庫補助金-御宿町負担金

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

- ・利用者数や収支について、数値指標による評価を実施
- ・デマンドタクシー利用者アンケート

7. 別表1の補助対象事業の基準ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
表5を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし

(2) 事業の効果

※該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

■令和5年6月26日

- ・令和4年度協議会事業及び決算について報告
- ・令和4年度デマンドタクシー運行実績について報告
- ・デマンドタクシー利用者アンケートの実施について協議
- ・令和6年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について協議

■令和5年11月17日

- ・デマンドタクシー利用者アンケートの結果について報告
- ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について報告
- ・令和5年度地域公共交通確保事業維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について協議

■令和6年1月31日

- ・令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について協議
- ・地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について協議

■令和6年3月27日

- ・路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について協議
- ・デマンドタクシーの運行拡充について協議
- ・令和6年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について協議
- ・協議会委員の追加について協議

※御宿町オブザーバー参加

■令和6年6月26日

- ・令和5年度協議会事業報告及び決算報告について報告
- ・令和5年度デマンドタクシー運行実績について報告
- ・協議会役員の改選について協議
- ・勝浦市デマンドタクシー運行について協議
- ・勝浦市地域公共交通計画の変更について協議
- ・令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について協議

※御宿町オブザーバー参加

※全ての報告事項及び協議事項について了承又は合意が得られた。

※御宿町がオブザーバーとして参加した協議会については、御宿町からも了承を得ております。

19. 利用者等の意見の反映状況

デマンドタクシーの利用者アンケートの定期的な実施により、利用者意見の把握に努めるとともに、令和4年度に実施した地域公共交通計画の策定に係る市民アンケートの結果を参考にし、デマンドタクシーの運行区域や運行時間の拡大等について検討するなど、市内の様々な団体の参画による本協議会での協議を経て、市民ニーズの反映に努めている。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 千葉県勝浦市新官 1343-1(所 属) 企画課政策推進係(氏 名) 忍足 俊樹(電 話) 0470-73-6654(e-mail) seisaku-k@city-katsuura.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和7年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便増進特例措置	運送継続特例措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地	終点						運行態様の別	基準ハで 該当する 要件 (別表7・ 9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の 確保	基準ホで該 当する要件 (別表7のみ)
勝浦市 御宿町	エミタスタクシー南 総株式会社	(1) 勝浦上野		勝浦 御宿		往 復 km	293日	5274回			区域運行	②(1)	勝浦駅でJR外 房線と接続	③
	小湊鉄道株式会社	(2)				往 復 km	日	回						
		(3)				往 復 km	日	回						
		(4)				往 復 km	日	回						
		(5)				往 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシニーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシニーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシニーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシニーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシニーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	勝浦市
-------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	16,927
交通不便地域等	16,927

交通不便地域等の内訳

人 口	対象地区	根拠法
16,927	市内全域	半島振興法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び
特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
勝浦市地域公共交通計画	令和5年2月24日	

(1)記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ハ②（1））に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7（ハ②（2）（実施要領の2.（1）⑪））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7（ハ②（1））に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定（乗用）」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、特例を適用する場合に記載すること。

(2)添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。（ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可）

表1 添付資料

【運行系統】



【算出根拠】

計画運行日数：293日 ⇒ 祝日・12/29～1/3 を除く月曜日から土曜日

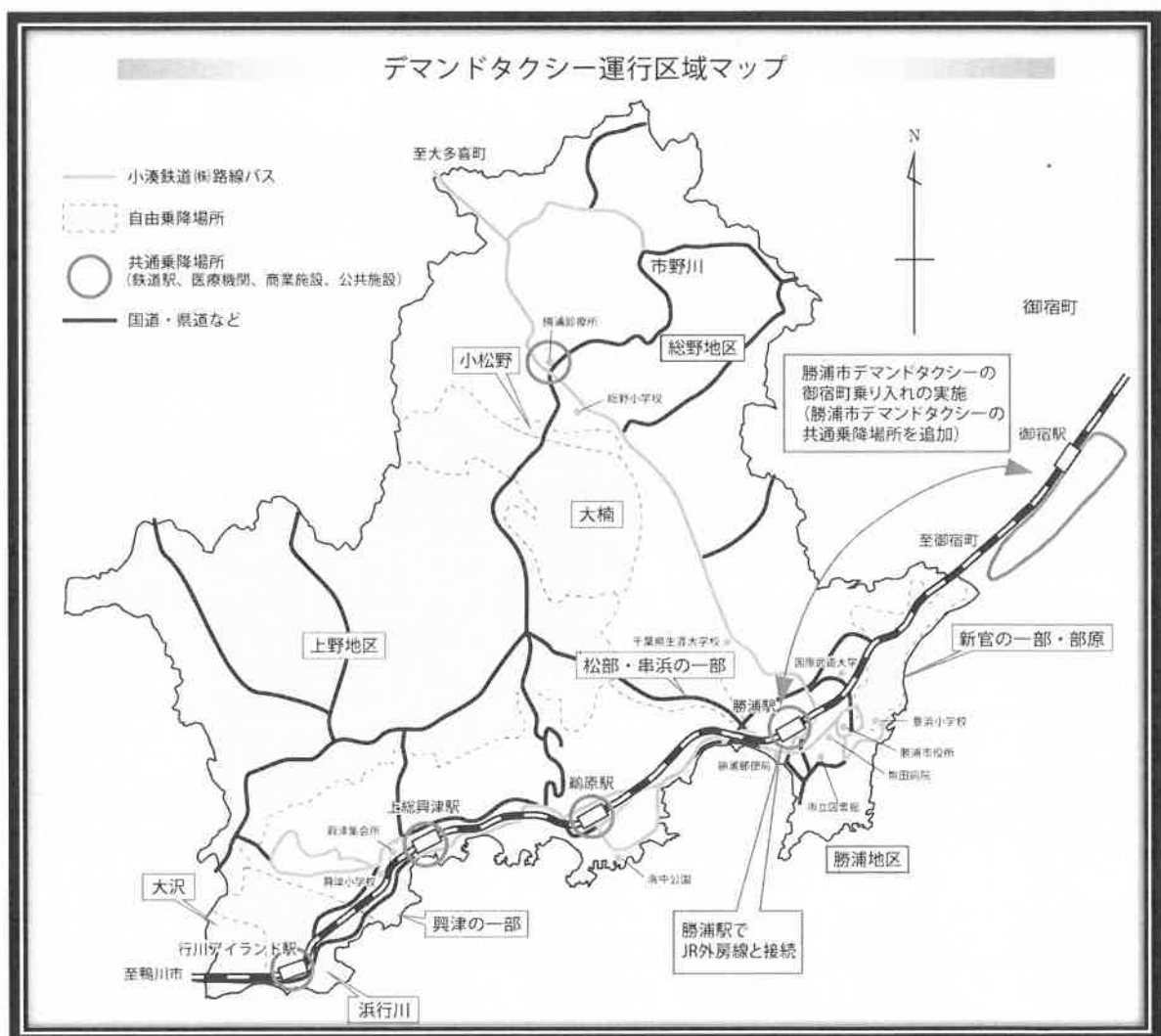
計画運行回数：5274回 ⇒ 293日×6便×3台

表5添付図面 （市域全図と予定ルート）

運行区域

デマンド交通（区域運行型）の運行区域は、上野地区、小松野地区、大楠地区、大沢地区・浜行川地区、興津地区の一部、松部・串浜地区の一部、新官の一部、部原とする。

また通院、買物、公共施設利用の確保のため、鉄道駅、医療機関、商業施設、公共施設、御宿町内等に共通乗降場所を設置する。



御宿町地域公共交通計画

(変更部分のみ 赤字修正)

令和6年6月

御宿町地域公共交通活性化協議会

(3) 公共交通の機能分担

本町の公共交通ネットワークの方向性は、以下の通り4段階に機能分担を図る。

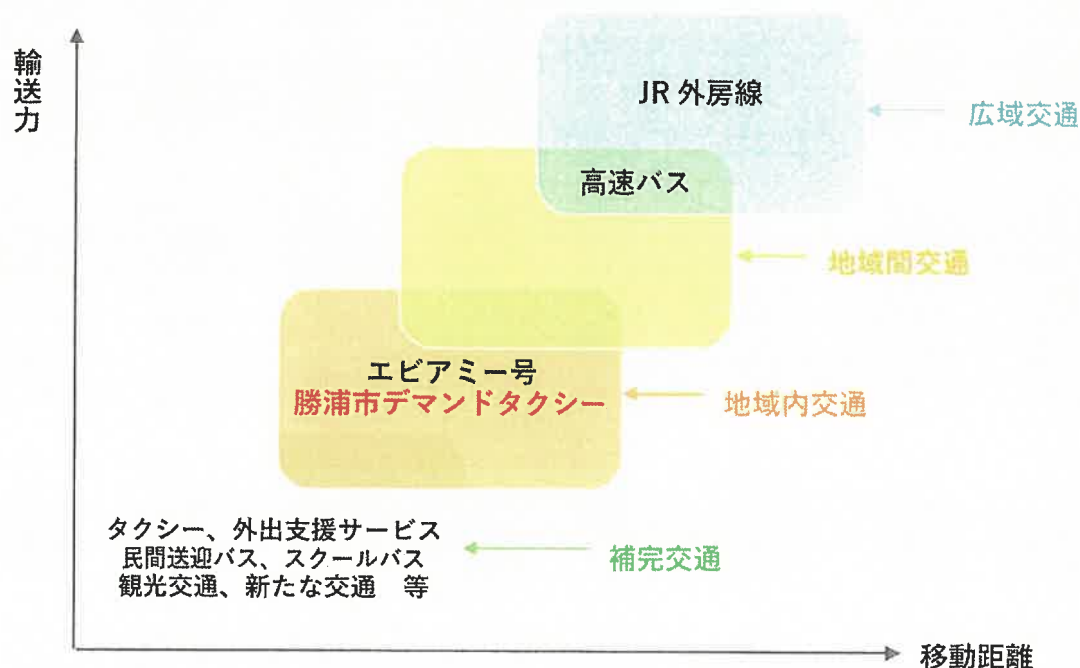
これらの交通結節点としては、御宿駅をはじめ、高速バス、エビアミー号の乗降場所となっている御宿町公民館等を位置付け、既存の公共交通ネットワークを基本としながらこれらを補完する新たな移動手段の導入を検討する。

公共交通機関の相互連携により、住民の生活交通や観光客の目的地までの交通手段としても機能させることで、利便性の向上と効率的な運行を目指す。

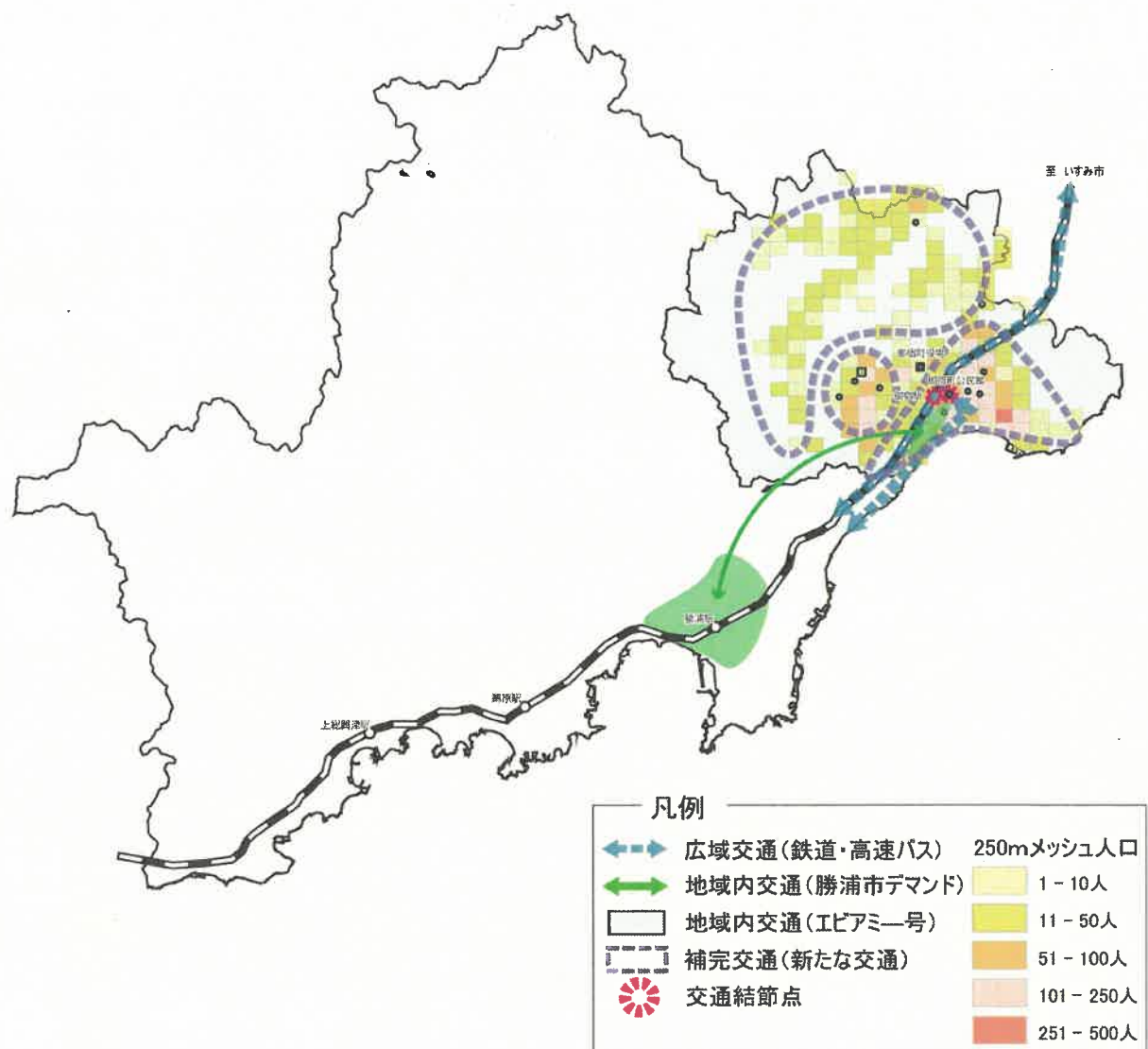
■公共交通システムの役割分担の考え方

区 分	役割分担	対応公共交通システム
広域交通	○勝浦市といすみ市、東京方面へ連絡し、地域の骨格形成軸となる路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	JR 外房線 高速バス
地域間交通	○近隣市町への連絡及び町内の骨格路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	高速バス（一般乗降化）
地域内交通	○広域交通に接続、地域間路線を補完 ○町内の拠点間へと連絡 ○地域の実情に合わせて主に高齢者の買い物、通院等の目的に対応 ○勝浦市デマンドタクシーの御宿町内への乗入れを実施（令和6年10月）	エビアミー号 勝浦市デマンドタクシー
補完交通	○鉄道、バス交通等を補完し、主に高齢者などのために少量個別輸送を担う移動手段 ○地域の実情に合わせて主に買い物、通院等の目的に対応 ○観光二次交通としての機能整備	タクシー、外出支援サービス 民間送迎バス、スクールバス、 地縁交通（地域の共助）、観光交通、新たな交通 等
交通結節点	○上記交通システムの乗り継ぎ拠点となる御宿駅・御宿町公民館をはじめ、地域の各拠点における乗継ぎ環境機能を強化	御宿駅、御宿町公民館 等

■輸送力と移動距離との関係による町内各公共交通の位置付け



■将来ネットワークイメージ



■市域の公共交通（各交通モード）が担う役割

位置づけ	公共交通システム	役割	確保・維持策
広域交通 (広域幹線)	JR 外房線（交通事業者） 高速バス（交通事業者）	勝浦市、いすみ市、 東京方面へ連絡し、 地域の骨格形成軸と なる路線	交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保。
地域間交通 (幹線)	高速バス（交通事業者）	近隣市町への連絡及び町内の骨格路線	
地域内交通 (支線)	<p>エビアミー号（運行は交通事業者に委託） （御宿町（運行は交通事業者に委託） 御宿町には JR 御宿駅があるほか駅周辺から近隣市をつなぐ路線バス・高速バスが運行されている。タクシーは基本 1 台で循環バス等はない。高齢化は県下上位で免許返納者も増加するなど自家用以外の移動手段のニーズが高まっており住民の暮らしを支える基盤として、地域交通の確保維持は大きな課題である。</p> <p>そのため、町では地域内フィーダー系統確保維持改善事業により町内全域をカバーする 10 人乗りの乗合運行を維持することが重要で、引き続き本事業を提供する必要がある。</p> <p>勝浦市デマンドタクシー 生活圏を一体とする勝浦市への移動手段を確保するため、勝浦市のデマンドタクシーを御宿町内に乗り入れ、公共交通不便地域の解消を図る。 高齢者等の買い物や通院のほか、広域交通への接続点につなげ、多様な目的に対応する。</p>	<p>広域交通・地域間交通に接続する路線</p> <p>勝浦市への連絡を実施</p>	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し持続可能な運行を目指す。
補完交通	タクシー、外出支援サービス、民間送迎バス、スクールバス、地縁交通（地域の共助）、観光交通、新たな交通等	鉄道、バス交通等を補完し、主に高齢者等のために少量個別輸送を担う移動手段	地域住民、交通事業者と協議の上、利用ニーズに応じた運行水準を確保。

(2) 評価指標

計画目標に応じた評価をするための指標と目標値を以下の通り定める。

評価指標	定義	現況値 (R4)	目標値 (R9まで)	考え方・効果
公共交通乗 降客数 (※1)	御宿駅（事業者）	790 人/日	830 人/日	事業実施により毎年 1.0% のペースアップを設定
	高速バス（事業者）	67,599 人/年	70,979 人/年	
	エピアミー号（町）	4,791 人/年	15 人/日以上 (360 日) 5,400 人/年 ※以下、単年ごとの目標値 令和 5 年度 15 人/日 (359 日) 5,385 人/年 令和 6 年度 15 人/日 (360 日) 5,400 人/年 令和 7 年度 15 人/日 (359 日) 5,385 人/年 令和 8 年度 15 人/日 (359 日) 5,385 人/年	1 日 15 人程度の利用者数を維持。町内全域をカバーする乗合運行を維持することにより高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保される。また、JR 及び民間バスといった交通軸に接続する公共交通サービスを確保することで外出する機会促進と地域活性化にもつながる。
	勝浦市デマンドタクシー (令和 6 年 10 月から運用を開始)	0 人/年	6 人/日以上 令和 6 年度 6 人/日 (144 日) 864 人/年 令和 7 年度 6 人/日 (292 日) 1,752 人/年 令和 8 年度 6 人/日 (292 日) 1,752 人/年	1 日 6 人程度の利用者数を維持。生活圏を一体とする勝浦市への移動手段を確保するため、勝浦市のデマンドタクシーの乗り入れを行い、公共交通不便地域の解消、多様な目的に対応する。
収支率 (※2)	エピアミー号の収支率	13.8%	15.0%以上	利用者増による収支率増を見込み
財政負担額 (※3)	公共交通に関する市の財政負担額	18,638 千円	20,000 千円以下	事業実施による財政負担の増が予想されるが概ね基準値を維持
交通結節点の機能整備 (※4)	整備及び機能強化を実施している交通結節点の数	0 か所	2 か所	御宿駅、御宿町公民館等を想定
他のまちづくり分野との連携 (※5)	観光や商業、福祉と連携した協議及び取組回数	0 件	1 件以上	新たな取組であるため 1 件以上として設定
利用促進の取組 (※6)	モビリティ・マネジメント施策の取組	0 件	1 件以上	新たな取組であるため 1 件以上として設定

データの取得方法

- ※1 東日本旅客鉄道(株)、小湊鐵道(株)提供データから毎年計測、御宿町統計データから毎年整理
- ※2 御宿町統計データから毎年整理
- ※3 御宿町統計データから毎年整理
- ※4 交通結節点の整備状況より毎年実績整理
- ※5 他分野との連携事業より毎年実績整理
- ※6 交通事業者連携事業より毎年実績整理

9. 実施事業及び実施主体

(1) 計画目標を踏まえた実施事業

計画目標	実施事業
目標① 利用ニーズに即した 利便性の高い 交通ネットワークの形成	(事業1) 鉄道ネットワークの維持・活性化 実施体制：御宿町、鉄道事業者、近隣市町
	(事業2) 高速バスの維持・サービスの見直し 実施体制：御宿町、高速バス事業者、近隣市町
	(事業3) ①エビアミー号の利用促進・サービスの強化 ②勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ 実施体制①御宿町、エビアミー号運行事業者 ②勝浦市、御宿町、勝浦デマンドタクシー運行事業者
	(事業4) タクシー事業の維持・利用促進 実施体制：御宿町、タクシー事業者、近隣市町
目標② 誰もが利用しやすい 交通環境の整備	(事業5) 交通結節点の整備 実施体制：御宿町、交通事業者
	(事業6) 御宿駅のバリアフリー化の推進 実施体制：御宿町、鉄道事業者
	(事業7) 情報発信の強化、DXの検討 実施体制：御宿町、交通事業者、関係団体
目標③ 他分野、他産業との 連携による利用促進	(事業8) 商業や観光と連携した利用促進策の検討 実施体制：御宿町、交通事業者、関係団体・事業者
	(事業9) 福祉分野との連携 実施体制：御宿町、関係団体・事業者
目標④ 住民、交通事業者、 行政の協働による 持続可能な体制づくり	(事業10) モビリティ・マネジメントの検討・実施 実施体制：御宿町、交通事業者、住民
	(事業11) 運転手不足への対応 実施体制：御宿町、交通事業者、近隣市町
	(事業12) 地域住民主体による移動手段の検討 実施体制：御宿町、住民

事業3

事業概要

①エビアミー号の利用促進・サービスの強化

②勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ

①エビアミー号の利用促進・サービスの強化

エビアミー号は利用者の乗合率の向上が課題であることから、町内広報誌等への掲載による情報発信の強化や利用者のニーズに応じた料金設定、回数券の発行、運行時間帯等の運行サービスについて継続的に見直し、利便性を高めることで利用促進を図る。

エビアミー号は主に高齢者の通院や買い物等の日常生活の移動を担っており、今後も高齢化の進行により、自家用車以外の移動ニーズが高まる中で、町内全域をカバーするエビアミー号は重要な交通手段である。一方、公共交通に関する財政負担は年々増加しており、自治体の努力だけでは維持が難しいことから、引き続き地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用していく。

②勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ

生活圏を一体とする勝浦市への移動手段を確保するため、勝浦市のデマンドタクシーを御宿町内に乗り入れ交通不便地域の解消を図り、高齢者等の買い物や通院、広域交通への接続点につなげるなど、多様な目的に対応する重要な交通を維持する。

交通不便地域等の解消と利用者要望を反映した公共交通体系を確保するため、自治体だけでは維持が困難なことから、地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、持続可能な地域交通を維持する必要がある。

また、その他地域についても地域間移動の利便性向上を図るため、必要に応じて他市町のデマンド交通の乗り入れの実施に向けた検討・協議を行う。エビアミー号の車両台数を増やす可能性も検討し、関係事業者や近隣市町との協議を行うこととする。

実施体制

①御宿町、エビアミー号運行事業者、②勝浦市、御宿町、勝浦デマンドタクシー運行事業者

実施期間

項目	R6	R7	R8	R9	R10
エビアミー号の利用促進・サービスの強化	維持・強化				
勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ	協議	実施			

■地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）

系統名	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行態様	実施主体	補助事業の活用
御宿町エビアミー号	—	御宿町内 16 か所の乗降場所	—	一般乗合	区域運行	御宿町（運行は交通事業者へ委託）	フィーダー補助
勝浦市デマンドタクシー	—	【勝浦市】 勝浦地区内の共通乗降場所 【御宿町】 町内 10 か所の乗降場所	—	一般乗合	区域運行	勝浦市（運行は交通事業者へ委託）	フィーダー補助

勝浦市予約制乗合タクシー [デマンドタクシー]

初めての方でも電話1本で簡単にご利用いただけます。
土曜日も運行していますのでご利用ください。



時刻表

	迎車開始時刻
1便	前日 予約 8:00
2便	9:30
3便	(上) 11:00 (下) 11:45
4便	13:30
5便	15:00
6便	16:30

運行日

祝日・12/29~1/3を除く月曜日~土曜日

予約時間

- 1便を利用する場合
前日の受付時間内に予約してください
- 2便~6便を利用する場合
迎車開始時刻の1時間前までに予約してください

対応可能な場合は30分前を目途に予約を受け付けます

運賃

大人:400円 中学生:200円
小学生:100円 未就学児:無料
運転経歴証明書所持者:200円
障病者手帳所持者及び介護者:各200円
※小学生以下は保護者の同伴が必要です。

高齢者タクシー
利用券が使えます

予約受付センター

☎ 73-2040

[受付時間]

◆月~土曜日 8時~17時

◆日曜・祝日 8時~15時



スマートフォンでの登録

下記QRコードより登録ください。
LINEの友達登録が必要になります。

電話での予約方法

初めての方はまず登録

予約受付センターへ電話
千番号・住所・氏名・生年月日
性別・連絡先

予約手順1

運行区域・乗降場所を確認

予約手順2

予約受付センターへ電話

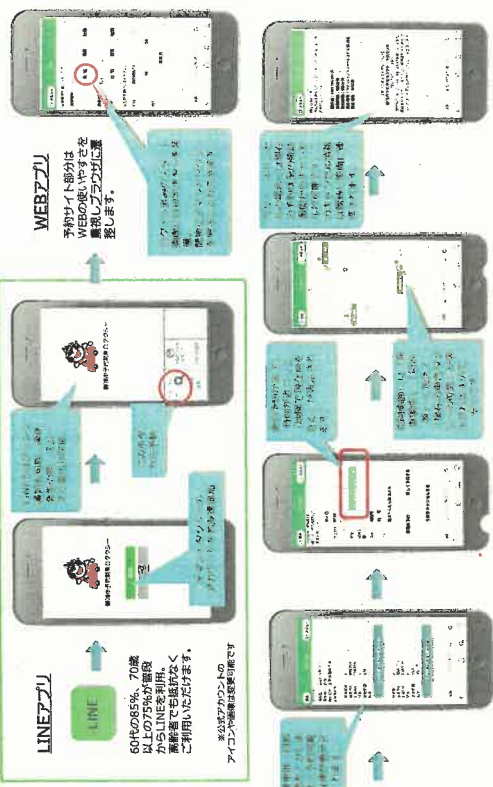
①住所・氏名・連絡先

②利用する便

③希望の乗降場所

これらを伝え、乗車場所でお待ちください。

スマートフォンでの予約方法



勝浦花子です。
住所は上野〇〇番地で、
連絡先は〇〇-〇〇〇〇です。
24日の2便の予約で、自宅から〇〇病院までお願いします。



24日の2便のご予約を受け付けました。
順番にお迎えに参いますので、
ご自宅でお待ちください。



市内に設置の専用直通電話でも予約ができます



